



天然除虫菊とミラクンPY



五月の爽やかな空の下、広島県尾道市の因島の斜面には白くて可愛い花が咲き乱れるそうです。この白い花は、「シロバナムシヨケギク」、別名「除虫菊」と呼ばれる、キク科の多年草です。可愛らしい風貌に反して、この花には殺虫成分ピレトリンが含まれています。生花のままでは殺虫効果はないようですが、乾燥させたり、精油化したものが殺虫剤の成分として全世界で古くから使用されています。除虫菊を使用した代表的なものに「蚊取り線香」があります。ピレトリンは、温血動物（哺乳類や鳥類など）には作用が弱いので、人にとって安全性が高い殺虫剤と言えます。今日ではピレトリンに類似した成分が合成され、合成ピレスロイドとして、その安定供給や殺虫効果の持続性の面からもピレトリンに取って代わって広く殺虫剤に利用されています。天然ピレトリンは、分解速度が速いため、合成ピレスロイドに比べて殺虫効果の残留性は低いです。しかし、その反面、殺虫成分の分解速度が速いということで、環境に残りにくく、環境にやさしくて安全性が高いと言えます。そして、天然由来の殺虫成分という安心感があります。さらに、ピレトリンは、有機農産物の日本農林規格（有機JAS）のオーガニック食品で使用できる唯一の農薬とされており、食品への残留基準値も高く設定されています。



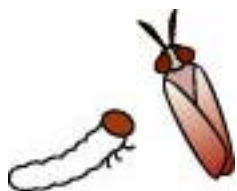
シロバナムシヨケギク

そんな人や環境にやさしいピレトリンを含む天然ジョチュウギクエキスを有効成分とする殺虫剤に、「ミラクンPY」（製造販売元：日本液化炭酸(株)・住化ライフテック(株)）があります。「ミラクンPY」は、もちろん有効成分が天然由来で、殺虫効力が高いが、人への毒性は低く、さらに溶剤不使用であり、分解速度も速いので環境にやさしい殺虫剤です。そして、炭酸ガス製剤ですので不燃性であり、ドライです。さらに広空間へ均一に噴霧することが可能です。



ミラクンPY噴霧施工(左)とミラクンPY(右)

ところで、「ミラクンPY」は「やさしい」と謳われているが、それで本当に虫を駆除できるのか？と疑問に思った弊社は、実際に使用してその効果を試験しました。貯穀害虫（ノシメダラメイガなどのメイガ類やカツオブシムシ類、タバコシバンムシなど）が発生して困っている工場で「ミラクンPY」を噴霧し、施工前後でトラップに捕獲される個体数で比較したところ、92～97%の駆除効果がありました。カツオブシムシ類やタバコシバンムシにおいては100%の駆除率でした。「ミラクンPY」はやさしいだけじゃない、頼もしい駆除効果もある薬剤でした。



「ミラクンPY」は、その駆除効果はもちろん、人や環境への安全性も追求される飲食店や食品工場などで、一歩先を行く防虫対策としてオススメな一品です。お問い合わせはHPからお願いします。

(編集部 H)